

## 第2回生駒市総合計画審議会（第三部会）

開催日時 平成29年8月1日（火） 9：30～

開催場所 生駒市役所 401・402会議室

出席者

（委員）高取部会長、谷中委員、藤尾委員、村上委員

（事務局）坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、  
片山政策企画推進係員

欠席者 なし

議事内容

(1)各小分野の検証

(2)その他

【事務局】（開会宣告、配布資料確認）

以下、発言要旨

№. 241 文化活動

【藤尾委員】 現市長になって文化芸術に力を入れているのは評価したい。活発に活動されていると思うが、広報紙だけの広がりだけでなく、もっと広く周知されたい。知っている人は知っているが、知らない人は知らない。良い取組をしているだけに、知らない人がいるのはもったいないと思う。音楽文化だけでなく、食文化などを途絶えないよう次世代に継承していくことが大切。

【高取部会長】 市民実感度の設問の選択肢に「どちらとも言えない」があると、これを選んでしまいがちになる。指標は概ね達成されており、評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】（異議なし）

№. 242 歴史・伝統文化

【高取部会長】 ふるさとミュージアムの来館者が順調に増えており、歴史・伝統文化へ

の関心の高まりが見て取れるので、B評価でも良いのではないかと思います。

【藤尾委員】 それほどお金をかけずに充実することができると思うので、Bと言えるくらいの取組をしてほしい。芸術に力を入れているが、歴史・伝統文化も大事だと思うので、次の世代に繋いでほしい。

【高取部会長】 ベッドタウンにもかかわらず、住んでいる地域に愛着を持つ市民が多いことは評価できる。指標では、「生駒歴史文化友の会」の会員数が伸び悩んでおり、目標に達していない。

【事務局】 歴史文化に関心のある方が登録されている。一年毎の更新で、自動更新でないため全員に必ず継続していただけるというものではないので、毎年増減が生じる。昨年は「こども会員」を新設して裾野を広げる取組もしている。

【藤尾委員】 少し敷居が高いイメージがある。友の会の取組を市民に向けてもっとアピールすれば良いのではないかと思います。

【事務局】 昨年度は、子どもに生駒の歴史に興味を持ってもらうため、小学6年生の社会科の副読本として「いこま歴史読本」を作成した。

【藤尾委員】 子どもだけに留まるのではなく、幅広い年齢層に向けて広める取組をしてほしい。

【高取部会長】 生駒の歴史は、知れば面白く興味深いですが、まだまだ知らない人が多い。評価としては、Cの委員が多いので、Cでよろしいか。

【藤尾委員】 新しいものにばかり目を向けるのではなく、歴史・伝統文化にもしっかりと目を向けて、B評価を目指して取組を進めてほしい。

#### No. 243 スポーツ・レクリエーション

【藤尾委員】 スポーツ推進員をしており、軽スポーツの普及に向けて取組んでいる。昨年から新たに南地区で防災訓練の際などに、一部スペースを借りて軽スポーツのブースを出展したところ、今まで参加していなかった人も含めて、大勢の人に参加してもらえた。行政主導のイベントに市民が手伝いに行くだけではなく、市民自らがアイデアを出して取組むことが重要だと思う。大きい恒例行事を同じように毎年実施するだけでなく、小さな新たな取組が各地区に広がっていくことで、スポーツ・レクリエーションの振興に繋

がると思う。

【高取部会長】 子どものドッジボールの大会でも軽スポーツの体験コーナーがあった。子どもから高齢者まで各世代が交わることができるので、とても良い発想だと思う。

【谷中委員】 既にあるものを上手く活用して、高齢者と若い人が交流できるようにすることは、良いことだと思う。独立したイベントはたくさんあるが、相乗効果を狙ったイベントは少ないと思う。

【藤尾委員】 子どものイベントに高齢者に来てもらい、異世代交流ができないか計画している。スケジュール等の問題もあり、まだ実現していないが、継続して声をかけたいと思っている。

【高取部会長】 目指すべき「4年後のまち」でも、体力や年齢に関わらず、生涯スポーツに親しむとなっているので、上手に各世代を混ぜて、取組を進めてほしい。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 411 地域福祉活動

【村上委員】 地域に若い人が多く、近所同士の地域の繋がりがなかなか出来にくい。自治会も輪番制で、消防団や民生委員もなり手が少ない。

【藤尾委員】 考え方によっては、高齢者しかいない地域もある中、若い人が多いのはうらやましくもある。

【谷中委員】 民生委員もなるのを敬遠されがちだが、自分で管理さえすれば、上手くできる。実際にサポートしすぎるのも良くなく、気を配るレベルでサポートするのが良いと思っている。自治会にしても、全部をカバーするのではなく、出来ることだけすれば上手くいく。

【藤尾委員】 若い人の考え方は今も昔も同じだと思う。今の高齢者も若いときの学びを経て、地域のために活動している。今後の地域の人材を育てるためにも、上の世代が若い世代を支えていく体制づくりが必要だと思う。

【高取部会長】 指標としては、概ね順調に推移しているが、地域ねっとのつどいの参加者数が目標に達していない。

【藤尾委員】 地域ねっとのつどいは、参加することが楽しいと思える場にするべきだ

と思う。地域福祉活動全般で言うと、行政も市民も頑張っていると思う。

【高取部会長】 評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 421 健康づくり

【高取部会長】 指標の特定健診とがん検診の受診率が3年連続で目標に達していない。

【藤尾委員】 長年健康づくりに携わっている。健診の受診率は生駒市の地理的な特性もあり、大阪市等で受診される人が多い。そういった人も含めれば、生駒市民の健康に対する意識は決して低くなく、むしろ高いと思う。

【事務局】 行政で把握できない市民行動もあり、すべてを指標として反映できていない状況。進捗度の理由にも書いてあるとおり、健康課としても様々な新しい取組も始めている。

【高取部会長】 受診率だけでは分からないこともある。取組としては評価でき、市民実感度も高い。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 431 医療

【藤尾委員】 自分の体のことを理解してくれるかかりつけ医を持つことは大事だと思う。

【高取部会長】 市内の病院に入院しない人が多く、指標の目標を達成していない。

【事務局】 大阪にもすぐに出れるので、市外・県外も含めて入院先の選択肢が多いのではないかと思う。

【藤尾委員】 生駒市は市内に病院がたくさんあり、とても恵まれていると思う。奈良県南部では病院自体が少なく、医療不足が大きな課題になっている。

【高取部会長】 評価としては、Cでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 441 高齢者保健福祉

【村上委員】 高齢でも元気に活躍している人が増えており、高齢者といってひとくくりにはできない。ひとりひとりの能力にあわせた取組を進めてほしい。

【藤尾委員】 高齢者だけで暮らしている地域では、元気な高齢者が元気のない高齢者を支えている。高齢者には、知識や経験があるので、これからは高齢者の力をどのように活用するかを考えていかないといけないと思う。

【高取部会長】 ひまわりの集いなど、この分野については活発に活動されているが、市民実感度は「どちらとも言えない」が多い。活動に関わっている人は、生駒市は全国的に見てもとても進んでいると言われるが、活動に関わっていない人には、その先進的な取組をあまり知られていない。世代間で意識のギャップがあるのではないか。

【藤尾委員】 関わる人を増やす取組としては、高齢者の状況を把握している民生委員と連携して進めていきたいと思う。ひまわりの集いなどの活動に絶対に行かないといっている人をどう把握できるかが課題である。

【谷中委員】 民生委員は一人暮らしで大変な高齢者の状況は把握しているが、地域での付き合いを持ちたくないと思っている人に、どの程度民生委員が接していくかが難しい。

【藤尾委員】 今の若者が高齢者になると、地域での付き合いを持ちたくない人がもっと増えると思う。防災面においても地域のつながりについて、今後考えていかないといけないと思う。

【高取部会長】 評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 442 社会保障

【高取委員】 意見等はあるか。

【各委員】 (特になし)

【高取委員】 指標は概ね達成している。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 451 障がい者保健福祉

【藤尾委員】 以前に福祉作業所の立ち上げに関わったこともあって、障がいがある子どもたちが社会で堂々と胸を張って歩けるよう意見を言ってきた。医者や指導員だけでなく住民とも関わりを持つことが大事だと思う。

【高取部会長】 指標もほぼ達成しており、受け皿の確保と障がい者への理解が進んでいると思う。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

【高取部会長】 本日本日予定していた審議案件については以上である。全般的に何か意見等はあるか。

【各委員】 (特になし)

【事務局】 (庶務連絡、閉会宣告)

— 了 —